

OpenOLAP Report Designer マニュアル

R 2.0.0

2005 年 2 月



OpenOLAP Report Designer マニュアル

R 2.0.0

商標

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本文中には TM、® マークは明記しておりません。

目次

1 OpenOLAP Report Designer の概要	1
1.1 OpenOLAP Report Designer の機能	2
1.1.1 レポートの作成	2
1.1.2 レポートの閲覧	5
1.1.3 フォルダ、レポートの管理	6
1.1.4 ユーザー、グループの管理	6
1.2 OpenOLAP Report Designer の画面構成	7
1.2.1 OpenOLAP Report Designer の画面構成	7
1.2.2 ツールバー	7
1.2.3 ビュー	9
1.2.4 使用できない文字列	10
2 起動と終了	11
2.1 OpenOLAP Report Designer へのログイン	12
2.2 OpenOLAP Report Designer からのログアウト	13
3 レポートの作成	15
3.1 MOLAP レポートの作成	16
3.1.1 MOLAP レポート作成ウィザード	16
3.1.2 ステップ 1 : キューブの指定	16
3.1.3 ステップ 2 : レポートの設定	18
3.1.4 ステップ 3 : レポート名、フォルダの指定	20
3.1.5 レポート内容の変更	22
3.2 ROLAP レポートの作成	23
3.2.1 ROLAP レポート作成ウィザード	23
3.2.2 ステップ 1 : レポート名の指定	24
3.2.3 ステップ 2 : テンプレート、スタイル、論理モデルの指定	24
3.2.4 ステップ 3 : 表示項目と条件項目の追加、画面プロパティの設定	26
3.2.5 ステップ 4 : レポートの保存	34
3.2.6 レポートの編集	35
3.3 ポータルレポートの作成	37
3.3.1 ポータルレポート作成ウィザード	37
3.3.2 ステップ 1 : ポータルレポートの新規作成	37
3.3.3 ステップ 2 : レポートの名前、フォルダの指定	39
4 フォルダ・レポートの管理	41
4.1 フォルダ・レポート管理の画面構成	42
4.2 フォルダの管理	43
4.2.1 フォルダの作成	43
4.2.2 フォルダ名の変更	44

4.2.3 フォルダの移動	45
4.2.4 フォルダの削除	46
4.3 レポートの管理	46
4.3.1 レポート名の変更	46
4.3.2 レポートの移動	47
4.3.3 レポートの削除	48
4.4 ドリルスルー設定	49
4.4.1 MOLAP レポートからのドリルスルー設定	49
4.4.2 条件設定レポートからのドリルスルー設定	54
5 ユーザー、グループの管理	59
5.1 ユーザーの管理	60
5.1.1 ユーザーの種類	60
5.1.2 ユーザーの作成	60
5.1.3 ユーザー情報の変更	62
5.1.4 ユーザーの削除	63
5.2 グループの管理	63
5.2.1 グループの作成	63
5.2.2 グループ情報の変更	64
5.2.3 グループの削除	65
6 権限設定	67
6.1 権限の設定	68

OpenOLAP Report Designer の概要

OpenOLAP Report Designer は OpenOLAP Model Designer で生成されたキューブやモデルを対象とした強力なレポートングツールです。ビジネスインテリジェンスを導き出すまでの過程、多次元データ分析やデータ検索を OpenOLAP Report Designer は強力にバックアップします。この章では、OpenOLAP Report Designer の機能と画面構成をご紹介します。

この章は以下のとおり構成されています。

- [OpenOLAP Report Designer の機能](#)
- [OpenOLAP Report Designer の画面構成](#)

1.1 OpenOLAP Report Designer の機能

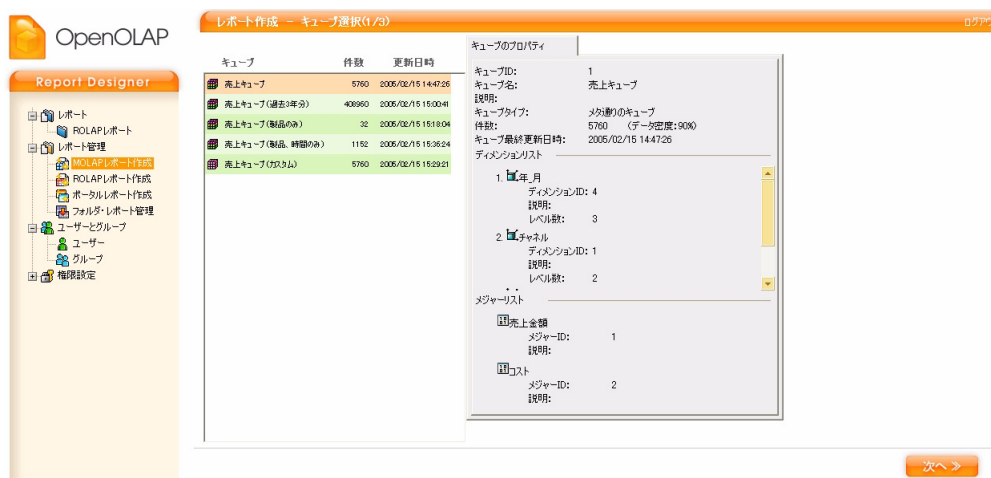
OpenOLAP Report Designer はインターネットブラウザを用意だけで、エンドユーザーは多次元データベースの分析レポートを閲覧することができます。

OpenOLAP Report Designer の主な機能は以下のとおりです。

1.1.1 レポートの作成

1. MOLAP レポート作成

OpenOLAP Model Designer で生成されたキューブを元にして、クロステーブル形式のレポートやグラフを作成できます。



2. ROLAP レポート作成

OpenOLAP Model Designer で作成された論理モデルを元に、①単純表、②繰り返し表、③クロスタブ表、④単純表・グラフ、⑤関連図、⑥条件設定の6つのパターンでレポートを作成できます。

①単純表

class_short_name	chan_short_name	sales	costs
ソフトウェア+その他	Webカタログ	0	0
	カタログ	1364197	784135
	卸売	1265655	646944
	直販	782276	459613
ハードウェア	Webカタログ	0	0
	カタログ	20030380	18148878
	卸売	18873283	15095894
	直販	11297140	10451901

②繰り返し表

ソフトウェア+その他

製品ファミリー名	チャネル名	売上金額
OS	Webカタログ	0
	カタログ	796110
	卸売	666922
	直販	485597
アクセサリ	Webカタログ	0
	カタログ	1505762
	卸売	1249343
	直販	874067

ハードウェア

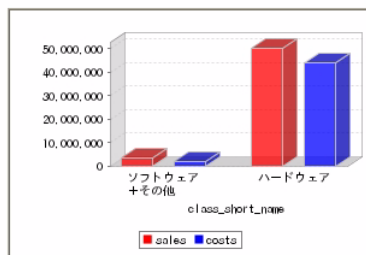
製品ファミリー名	チャネル名	売上金額
デスクトップPC	Webカタログ	0
	カタログ	13392149
	卸売	11215738
	直販	7823434
	Webカタログ	0

③クロスタブ表

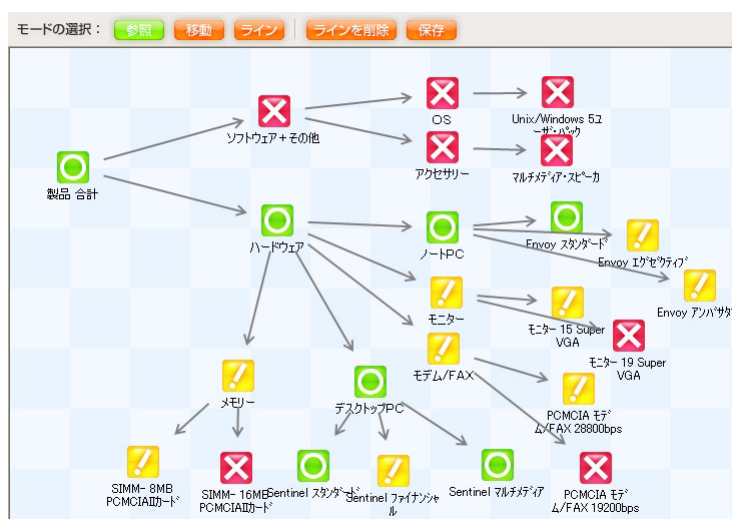
製品クラス名	製品ファミリー名	製品名	チャネル名	
			直販	卸売
ハードウェア	メモリー	SIMM- 8MB ...	472372	63742
		SIMM- 16MB...	203929	30826
	ノートPC	Envoy スタンダ...	4751985	681897
		Envoy エグゼ...	1241063	176913
		Envoy アンバサ...	1433062	207183
	デスクトップPC	Sentinel スタン...	3597115	525873
		Sentinel ファイ...	1259453	186727
		Sentinel マルチ...	2966866	408973
		モニター 15 Sup...	409970	59239
	エー...			

④単純表・グラフ

class_short_name	sales	costs
ソフトウェア+その他	3412128	1890692
ハードウェア	50200803	43696673



⑤関連図



⑥条件設定

モードの選択: 参照 移動 ライン ラインを削除 保存

条件1: ハードウェア メモリー SIMM- 8MB PCMCIAカード

条件2: 直販

検索

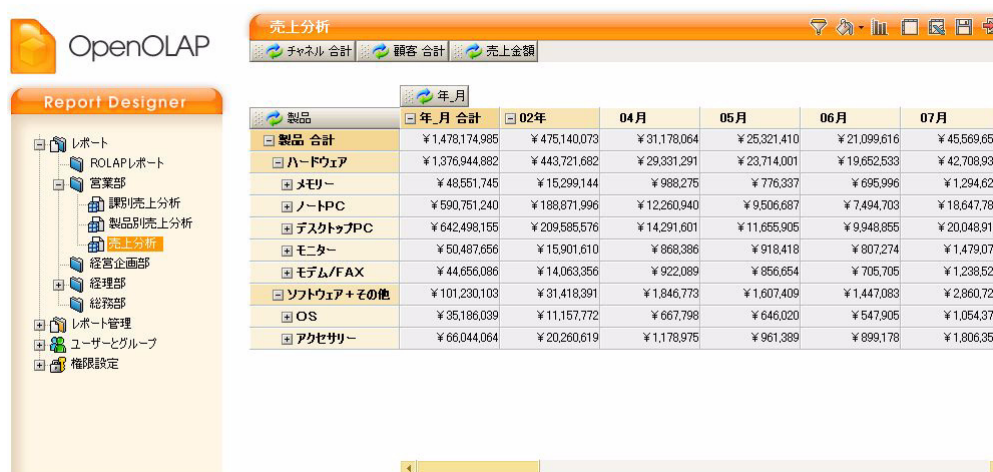
3. ポータルレポート作成

作成した ROLAP レポートや、外部のインターネットサイトをポータルサイトのようなレポートとして、作成することができます。



1.1.2 レポートの閲覧

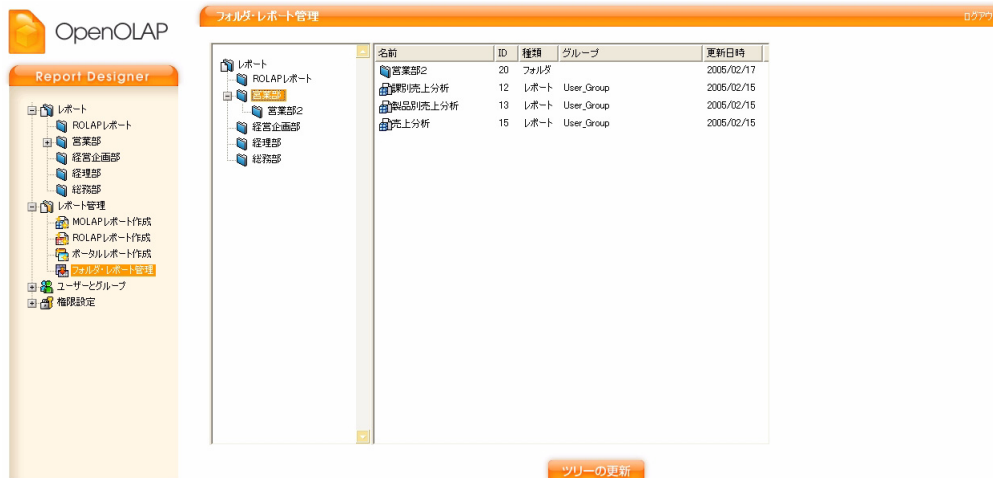
作成したレポートをブラウザから閲覧することができます。管理者は既存のレポートの設定を変更して保存することができます。



メモ： 一般ユーザーとゲストは OpenOLAP Viewer からレポートを閲覧できます。

1.1.3 フォルダ、レポートの管理

管理者は、レポート検索を効率的にするフォルダを作成したり、レポートをフォルダに割り当て直すなど、エクスプローラ風の操作でフォルダとレポートを管理することができます。また、ROLAP レポートへのドリルスルー機能を設定して、より詳細な情報を見ることができます。



1.1.4 ユーザー、グループの管理

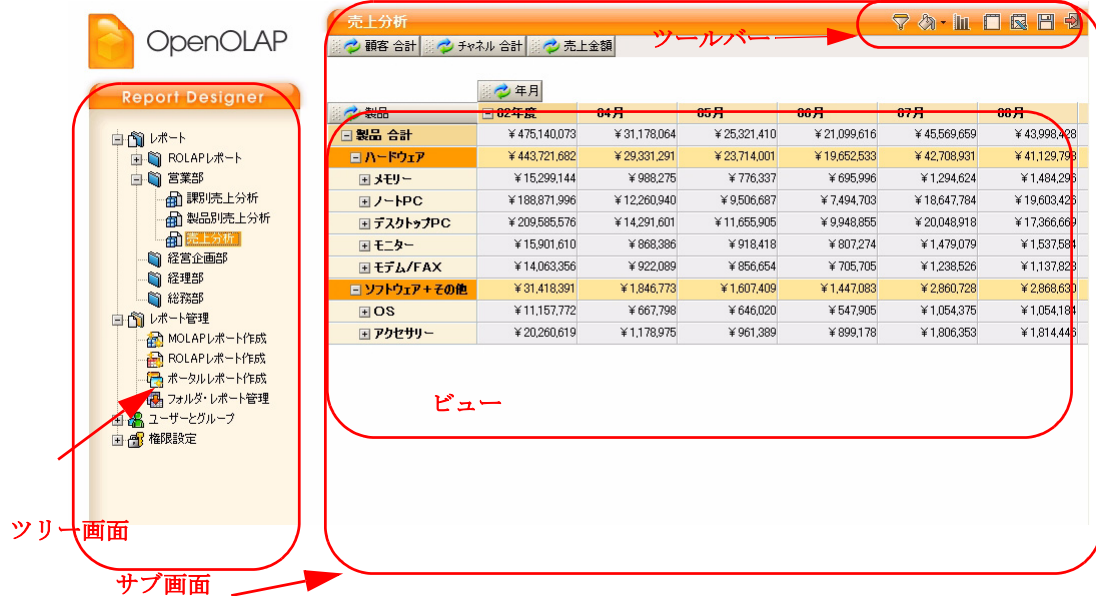
管理者は、OpenOLAP Report Designer、OpenOLAP Viewer を使用するユーザーやグループを作成し、レポート参照権限やエクスポート権限などを任意に設定、管理することができます。



1.2 OpenOLAP Report Designer の画面構成

1.2.1 OpenOLAP Report Designer の画面構成

OpenOLAP Report Designer の各個所の名称は以下のとおりです。









ツリー画面	レポートや管理メニューを選択します。
サブ画面	レポートやレポート新規作成、フォルダ管理などの画面を表示します。
ツールバー	データの設定や色設定、保存などを行います。
ビュー	選択したレポートを表示します。

1.2.2 ツールバー

1. MOLP レポート作成画面にはデータの選択や色設定のためのツールバーが用意されています。












アイコン	ボタン名	説明
	セレクト	ディメンションやメジャーを選択して、必要な項目をレポートに表示することができます。
	カラー選択	レポートのセルに対して [塗りつぶし] か [ハイライト] のどちらを利用するのか選択します。
	塗りつぶし	レポートのセルの背景色を指定することができます。

アイコン	ボタン名	説明
	ハイライト	レポートのセルの背景色を条件にしたがってハイライト指定することができます。
	グラフの種類	グラフ表示をしているとき、グラフの種類を指定することができます。
	画面表示	データの表示形式を「表」「グラフ」「表・グラフ」のいずれかに変更することができます。
	エクスポート	レポートを CSV 形式または XMLSpreadSheet 形式でエクスポートできます。エクスポート形式は、OpenOLAP Report Designer の [ユーザー情報] 画面または OpenOLAP Viewer の [エクスポート形式] 画面で選択できます。
	保存	参照レポートのディメンション、メジャーのレイアウト変更やセルの塗りつぶし設定、セレクト設定などの変更を保存することができます。 * 一般ユーザー、ゲストの場合は個人レポートの保存となります。
	ログアウト	OpenOLAP ROLAP Designer からログアウトします。

2. ポータルレポート作成画面には画面の入れ替えや、並び替えのためのツールバーが用意されています。

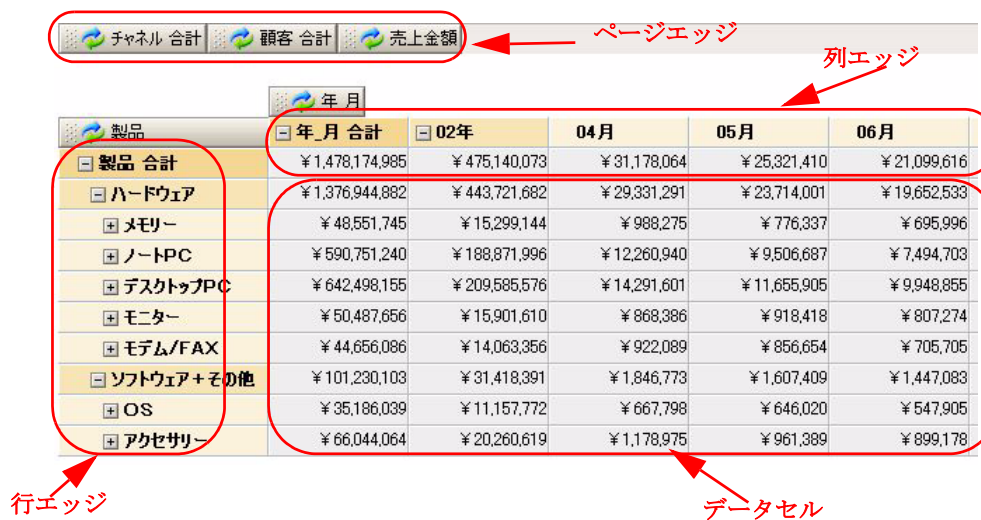


アイコン	ボタン名	説明
	新規作成	ポータルウィンドウを追加します。
	削除	選択したポータルウィンドウを削除します。
	入れ替え	ポータルウィンドウが複数ある場合、アクティブウィンドウの入れ替えを行います。
	横に並べて表示	複数のポータルウィンドウを横に並べて表示します。
	縦に並べて表示	複数のポータルウィンドウを縦に並べて表示します。

アイコン	ボタン名	説明
	全て閉じる	開いているポータルウィンドウの内容を全て閉じます。 *タイトルバーのみ表示。
	全て開く	閉じているポータルウィンドウを全て開きます。
	保存	ポータルウィンドウの設定やウィンドウの並び替えなどの変更を保存することができます。
	ログアウト	OpenOLAP Report Designer からログアウトします。

1.2.3 ビュー

ビューの各個所の名称は以下のとおりです。



製品	年月	02年	04月	05月	06月
製品 合計	¥1,478,174,985	¥475,140,073	¥31,178,064	¥25,321,410	¥21,099,616
ハードウェア	¥1,376,944,882	¥443,721,682	¥29,331,291	¥23,714,001	¥19,652,533
メモリー	¥48,551,745	¥15,299,144	¥988,275	¥776,337	¥695,996
ノートPC	¥590,751,240	¥188,871,996	¥12,260,940	¥9,506,687	¥7,494,703
デスクトップPC	¥642,498,155	¥209,585,576	¥14,291,601	¥11,655,905	¥9,948,855
モニター	¥50,487,656	¥15,901,610	¥868,386	¥918,418	¥807,274
モデム/FAX	¥44,656,086	¥14,063,356	¥922,089	¥856,654	¥705,705
ソフトウェア+その他	¥101,230,103	¥31,418,391	¥1,846,773	¥1,607,409	¥1,447,083
OS	¥35,186,039	¥11,157,772	¥667,798	¥646,020	¥547,905
アクセサリ	¥66,044,064	¥20,260,619	¥1,178,975	¥961,389	¥899,178

行エッジ	レポートの行データが表示されている部分
列エッジ	レポートの列データが表示されている部分
ページエッジ	レポートのページデータが表示されている部分
データセル	レポートのデータ部分

行エッジ、列エッジ、ページエッジ内に配置されているレポートの分析項目のことを「ディメンション」ディメンションの中の値を「メンバー」、データセルに入っている数値のことを「メジャー」といいます。

1.2.4 使用できない文字列

OpenOLAP Report Designer のレポート名、フォルダ名、セレクトの検索文字列には以下の 6 種類の文字列を入力することはできません。入力すると、記号と丸囲み文字以外はエラーメッセージが表示され、記号と丸囲み文字は登録後再表示すると文字化けします。

記号、(例：～、♪など) 丸囲み文字 (例：①、②など)、「<」、「>」、「&」、「」

起動と終了

OpenOLAP Report Designer の起動と終了の方法を説明します。

この章は以下の通り構成されています。

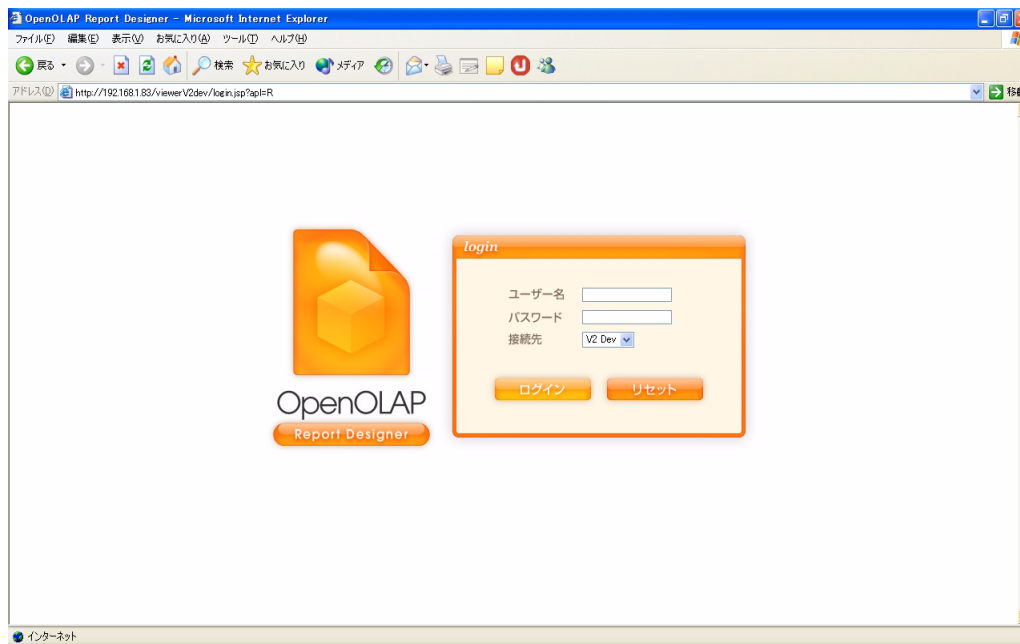
- [OpenOLAP Report Designer へのログイン](#)
- [OpenOLAP Report Designer からのログアウト](#)

2.1 OpenOLAP Report Designer へのログイン

OpenOLAP Report Designer にログインするために、事前に次の情報を確認しておきます。

- ・ 管理者のユーザー名とパスワード
- ・ OpenOLAP Report Designer の URL

1. インターネットブラウザを起動します。
2. OpenOLAP Report Designer ログイン画面の URL を指定します。



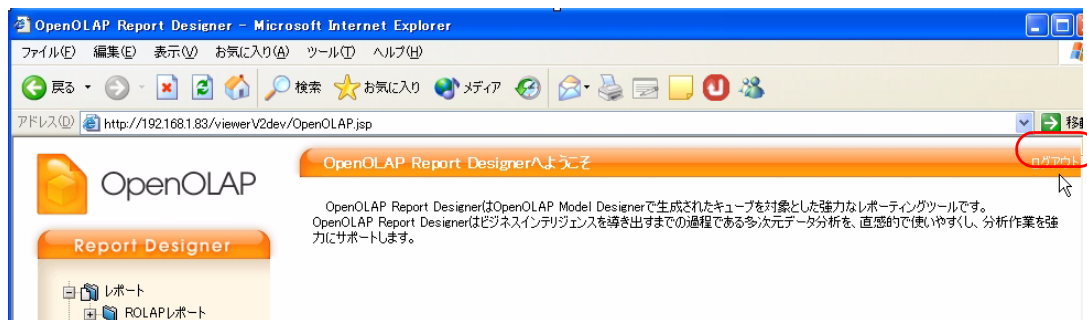
3. ユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。OpenOLAP Report Designer が起動し、ホーム画面が表示されます。



メモ： [リセット] ボタンをクリックすると、ユーザー名とパスワードがクリアされます。

2.2 OpenOLAP Report Designer からのログアウト

OpenOLAP Report Designer からログアウトするには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



メモ：何も操作しないまま管理者の設定するアイドル時間を過ぎると、ログイン画面に自動的に遷移します。

レポートの作成

この章では OpenOLAP Report Designer を使用したレポートの作成方法をステップを追って説明します。

この章は以下のとおり構成されています。

1. MOLAP レポートの作成

- ・ [MOLAP レポート作成ウィザード](#)
- ・ [ステップ 1：キューブの指定](#)
- ・ [ステップ 2：レポートの設定](#)
- ・ [ステップ 3：レポート名、フォルダの指定](#)
- ・ [ステップ 4：レポートの保存](#)

2. ROLAP レポートの作成

- ・ [ROLAP レポート作成ウィザード](#)
- ・ [ステップ 1：レポート名の指定](#)
- ・ [ステップ 2：テンプレート、スタイル、論理モデルの指定](#)
- ・ [ステップ 3：表示項目と条件項目の追加、画面プロパティの設定](#)
- ・ [ステップ 4：レポートの保存](#)
- ・ [レポートの編集](#)

3. ポータルレポートの作成

- ・ [ポータルレポート作成ウィザード](#)
- ・ [ステップ 1：ポータルレポートの新規作成](#)
- ・ [ステップ 2：レポートの名前、フォルダの指定](#)

3.1 MOLAP レポートの作成

3.1.1 MOLAP レポート作成ウィザード

OpenOLAP Report Designer では、3つのステップでレポートを作成します。

[ステップ1：キューブの指定](#)

[ステップ2：レポートの設定](#)

[ステップ3：レポート名、フォルダの指定](#)

次の項からはステップごとにご説明します。

3.1.2 ステップ1：キューブの指定

レポートで表示するデータが格納されているキューブを選択します。

1. ツリー画面から「レポート管理」－「MOLAP レポート作成」を選択して「レポート作成－キューブ選択（1/3）」画面を表示します。



2. 「キューブ」リストボックスから、レポートで使用するキューブをクリックします。

レポート作成 － キューブ選択(1/3)		
キューブ	件数	更新日時
売上キューブ	5760	2005/02/15 14:47:26
売上キューブ(過去3年分)	408960	2005/02/15 15:00:41
売上キューブ(製品のみ)	32	2005/02/15 15:18:04
売上キューブ(製品、時間のみ)	1152	2005/02/15 15:36:24
売上キューブ(カスタム)	5760	2005/02/15 15:29:21
売上キューブ2	5760	2005/02/15 15:55:39

3. [キューブのプロパティ] ボックスに選択されたキューブの情報が表示されます。

キューブ	件数	更新日時
売上キューブ	5760	2005/02/15 14:47:26
売上キューブ(過去3年分)	408960	2005/02/15 15:00:41
売上キューブ(製品のみ)	32	2005/02/15 15:18:04
売上キューブ(製品、時間のみ)	1152	2005/02/15 15:36:24
売上キューブ(カスタム)	5760	2005/02/15 15:29:21
売上キューブ2	5760	2005/02/15 15:55:39

キューブのプロパティ

キューブID: 1
 キューブ名: 売上キューブ
 説明:
 キューブタイプ: メタ通りのキューブ
 件数: 5760 (データ密度: 90%)
 キューブ最終更新日時: 2005/02/15 14:47:26

ディメンジョンリスト

1. 年_月
ディメンジョンID: 4
説明:
レベル数: 3
2. チャンネル
ディメンジョンID: 1
説明:
レベル数: 2

メジャーリスト

☒ 売上金額
 メジャーID: 1
 説明:

☒ コスト
 メジャーID: 2
 説明:

項目名	入力内容
キューブ ID	キューブ ID が表示されます。
キューブ名	キューブ名が表示されます。
説明	OpenOLAP Model Designer の [キューブ登録 / 情報] 画面に登録された [コメント] が表示されます。
キューブタイプ	<p>キューブのタイプが表示されます。</p> <p>[メタ通りのキューブ] OpenOLAP のメタデータと一致するキューブ</p> <p>[メタとは異なるキューブ] OpenOLAP のメタデータと異なるキューブ (キューブ生成後、OpenOLAP Model Designer で定義が変更されたキューブ)</p> <p>[カスタマイズキューブ] OpenOLAP Model Designer の [SQL チューニング] 画面で SQL のカスタマイズがされているキューブ</p>
件数	<p>キューブのデータ件数とデータ密度が表示されます。</p> <p>* カスタマイズキューブの場合はデータ密度は表示されません。</p>
キューブ最終更新日	キューブデータの最終更新日が表示されます。

項目名		入力内容
ディメンションリスト	名称	キューブ内でのディメンションの番号とディメンションの名称が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	ディメンション ID	ディメンション ID が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	説明	OpenOLAP Model Designer の [ディメンション登録 / 情報] 画面に登録された [コメント] が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	レベル数	ディメンションのレベル数が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
メジャーリスト	名称	キューブ内でのメジャーの番号とメジャーの名称が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	メジャー ID	メジャー ID が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	説明	OpenOLAP Model Designer の [メジャー登録 / 情報] 画面に登録された [コメント] が表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。
	タイプ	カスタムメジャーの場合、カスタムメジャーのタイプが表示されます。 [実データ形式] カスタムメジャー計算後の値をメタデータに格納している場合、表示されます。 [フォーミュラ形式] カスタムメジャーの計算式のみをメタデータに保持している場合、表示されます。 * カスタマイズキューブの場合は表示されません。

4. [次へ] ボタンをクリックします。[レポート作成－レポート設定 (2/3)] 画面が表示されます。



3.1.3 ステップ2：レポートの設定

レポートのレイアウト指定（行エッジ、列エッジ、ページエッジの配置）や、値の絞込み、セルの塗りつぶし指定、グラフ表示の指定などを行います。

- 初期表示ではレポートは次のとおり表示されます。
 - 列エッジ、行エッジに1つずつディメンションが配置される。残りのディメンションはページエッジに表示される。
 - メジャーはページエッジの一番最後に配置される。
 - 各ディメンション / メジャーのデフォルトメンバー（ページエッジに配置したときの「スライサー」ボタンで表示されるメンバー）は、ディメンション / メジャーのメンバーリストの先頭となる。このときディメンションが「合計」を持つ場合は、「合計」がデフォルトメンバーとなる。
 - 各ディメンションのドリル状態はレベル1のメンバーが展開されている状態（レベル1とレベル2が表示されている状態）となる。

スライサーボタン (ディメンション) →

スライサーボタン (メジャー) →

年_月	
製品	年_月 合計 02年
製品 合計	¥1,478,174,985 ¥475,140,073
ハードウェア	¥1,376,944,882 ¥443,721,682


- ディメンションが1つしか存在しない場合には、列エッジにディメンション、行エッジにメジャーが配置される。

＜ディメンション/メジャー挿入エリア＞

製品	
メジャー	製品 合計
売上金額	¥1,596,623,928
コスト	¥1,441,718,523

- ディメンションが2つしか存在しない場合は、列エッジ、行エッジにそれぞれディメンションが配置され、ページエッジにメジャーが配置される。

売上金額	
製品	年_月
製品	年_月 合計
製品 合計	¥1,478,174,985
ハードウェア	¥1,376,944,882
ソフトウェア+その他	¥101,230,103

- 列エッジ、行エッジ、ページエッジの配置を変更するには、移動したいディメンションまたはメジャーの「移動」アイコン  をクリックして、移動させたい位置へドラッグ&ドロップします。詳細については、『OpenOLAP Viewer マニュアル』の『3.2 ディメンションの操作』を参照してください。
- 列エッジ、行エッジのドリル状態を変更するには、「+」ボタンをクリックして展開したり、「-」ボタンをクリックして、折り畳みをする

ことにより行います。詳細については、『OpenOLAP Viewer マニュアル』の『3.3 ドリル操作』を参照してください。

4. 値の絞込みを行う場合は、ツールバーの [セレクト] ボタンをクリックして、[セレクト] 画面を表示し、値を絞り込みます。詳細については、『OpenOLAP Viewer マニュアル』の『3.4 セレクトの利用』を参照してください。



5. セルの塗りつぶしやハイライト設定を行う場合は、ツールバーの [カラー選択] ボタンをクリックします。詳細については、『OpenOLAP Viewer マニュアル』の『3.5 データセルの色設定』を参照してください。



6. グラフ表示をする場合は、ツールバーの [画面表示] ボタンをクリックします。詳細については、『OpenOLAP Viewer マニュアル』の『3.7 グラフの表示』を参照してください。



7. [次へ] ボタンをクリックします。[レポート作成－保存 (3/3)] 画面が表示されます。



メモ： レポートに表示するキューブを変更したい場合は、[戻る] ボタンをクリックして、キューブを選択しなおしてください。

3.1.4 ステップ3：レポート名、フォルダの指定

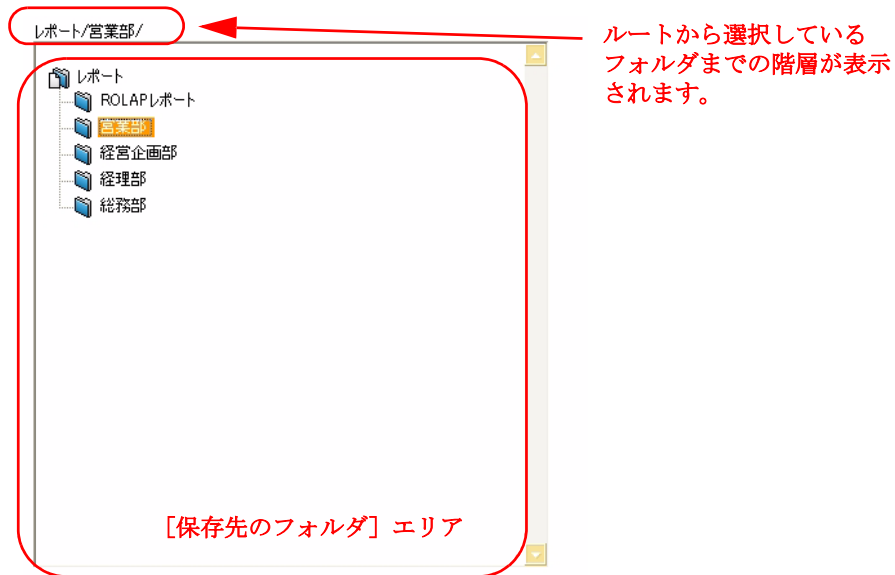
レポートの格納先フォルダとレポート名を指定します。

1. [レポート名] ボックスにレポート名を入力します（最大桁数 30 文字）。

レポート名:

メモ： 既存レポートと名前が重複しても問題はありません。

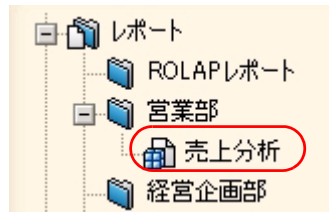
2. [保存先のフォルダ] エリアからレポートを格納したいフォルダを選択します。



3. [完了] ボタンをクリックします。



メモ： ツリー画面に作成したレポートのレポートアイコンが追加されます。



3.1.5 レポート内容の変更

作成済みのレポートは、レポート参照画面で設定を変更した後、[保存] ボタンで保存することができます。

1. ツリー画面で参照したいレポートをクリックします。サブ画面に選択したレポートが表示されます。



2. 以下、新規作成時と同様の操作でレイアウトやセルの塗りつぶし設定、セレクト設定、グラフの設定を変更します。以降の操作の詳細については、[『3.1.3 ステップ 2：レポートの設定』](#)を参照してください。
3. [保存] ボタンをクリックします。



注記： 管理者は個人レポートの保存はできません。個人レポートの保存ができるのは、一般ユーザーのみです

3.2 ROLAP レポートの作成

3.2.1 ROLAP レポート作成ウィザード

OpenOLAP Report Designer では、4つのステップで ROLAP レポートを作成します。

- ・ [ステップ 1 : レポート名の指定](#)
- ・ [ステップ 2 : テンプレート、スタイル、論理モデルの指定](#)
- ・ [ステップ 3 : 表示項目と条件項目の追加、画面プロパティの設定](#)
- ・ [ステップ 4 : レポートの保存](#)

3.2.2 ステップ1：レポート名の指定

レポート名を指定します。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [ROLAP レポート作成] を選択して [ROLAP レポート作成-レポート選択 (1/4)] 画面を表示します。



2. [新規モデルを作成] ラジオボタンを選択し、新規レポート名を入力します。(最大 30 文字まで入力可能)

ROLAPレポート作成 - レポート選択(1/4)

☒ 新規モデルを作成 新規レポート名:

編集	上へ して 作成	ID	名前	スキーマ	論理モデル	画面の種類	スタイル

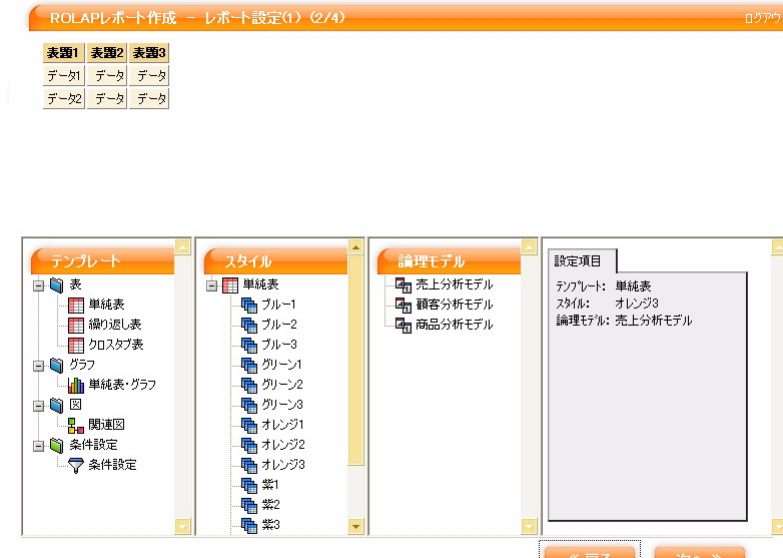
3. [次へ] ボタンをクリックします。[ROLAP 新規作成-レポート設定 (1) (2/4)] 画面が表示されます。



3.2.3 ステップ2：テンプレート、スタイル、論理モデルの指定

レポートのテンプレートやスタイル、モデルを指定します。

- 画面下部で、テンプレート、スタイル、論理モデルを設定します。画面上部で画面のサンプルが表示されます。



項目名	表示タイプ	入力内容
テンプレート		各テンプレートを選択すると、スタイル一覧が表示されます。
表	単純表	データをリスト形式で表示することができます。
	繰り返し表	データを指定したカテゴリごとにリスト形式で表示することができます。
	クロスタブ表	データをクロステーブル形式で表示することができます。
グラフ	単純表・グラフ	データを単純表とグラフで表示することができます。
図	関連図	指標データの関連を図で表示することができます。
条件設定	条件設定	ROLAP レポートへのドリルスルー条件を設定することができます。
スタイル		<p>初期設定は未表示ですが、テンプレートを選択すると表示されます。</p> <p>○テンプレートの表、グラフ 表の色や、罫線の有無を設定できます。</p> <p>○テンプレートの関連図 現在「共通」の1パターンのみ選択できます。</p> <p>○テンプレートの条件設定 条件設定部分の色を設定できます。</p>
論理モデル		OpenOLAP Model Designer で設定したモデル名が表示されます。
設定項目		初期設定では、テンプレート、スタイル、論理モデルは「未選択」が表示されています。各項目を選択すると選択した設定内容が表示されます。

2. 「次へ」 ボタンをクリックします。[ROLAP レポート作成－レポート設定 (2) (3/4)] 画面が表示されます。

次へ >>

3.2.4 ステップ3：表示項目と条件項目の追加、画面プロパティの設定

画面下部にてレポートに表示させたい項目、条件として起用したい項目、レポートに表示する行数などを設定することができます。また、設定した内容を SQL で確認やカスタマイズすることができます。画面上部では、画面のサンプルが表示されます。

ROLAPレポート作成 - レポート設定(2) (3/4) ログアウト

class_short_name	chan_short_name	sales	costs
%%class_short_name%%	%%chan_short_name%%	%%sales%%	%%costs%%

使用可能な項目

- 抽出項目
 - prod_class
 - class_id
 - class_short_name
 - prod_family
 - family_id
 - family_short_name
 - product
 - prod_id
 - prod_short_name
 - price
 - channel
 - chan_id

表示項目と条件項目の追加

- 表示項目の追加
 - class_short_name
 - chan_short_name
 - sales
 - costs
- 条件項目の追加
 - time

画面プロパティ

SQL

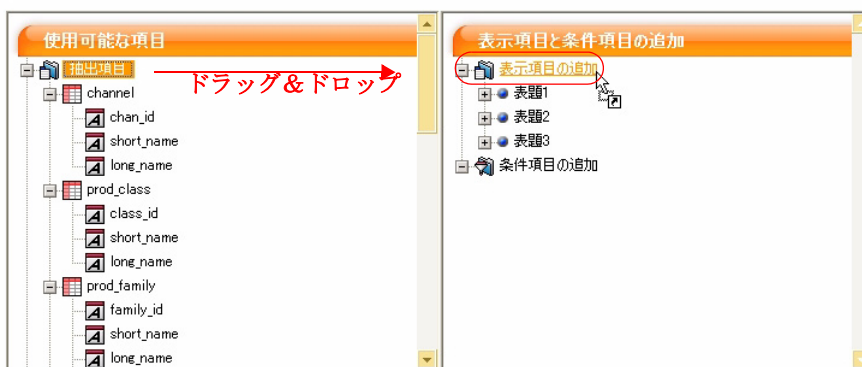
一度に表示する行数: 50

セルの結合: 結合する

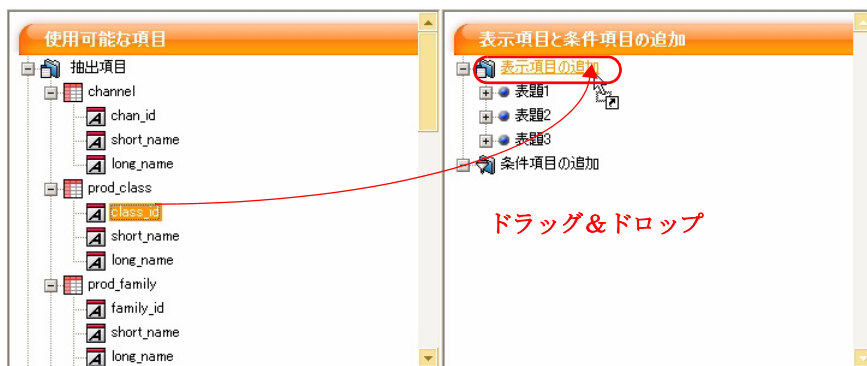
<< 戻る 次へ >>

1. [使用可能な項目] から [抽出項目]、[条件項目] をそれぞれ [表示項目と条件項目の追加] の [表示項目の追加]、[条件項目の追加] へ移動します。

- ・ [使用可能な項目] から [抽出項目] のすべての項目を移動する場合には、[使用可能な項目] から [抽出項目] を選択し、[表示項目と条件項目の追加] の [表示項目の追加] へドラッグ&ドロップします。

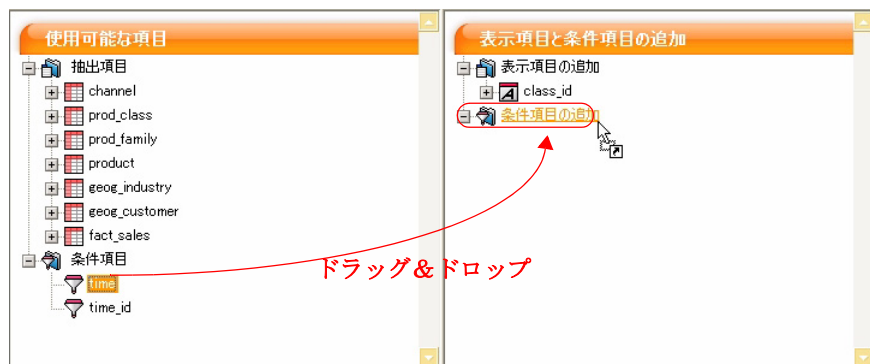


- ・ [使用可能な項目] から任意で項目を移動する場合には、[使用可能な項目] の [抽出項目] から項目名を選択し、[表示項目と条件項目の追加] の [表示項目の追加] へドラッグ&ドロップします。または、[表示項目の追加] の表題1へドロップ&ドラッグします。

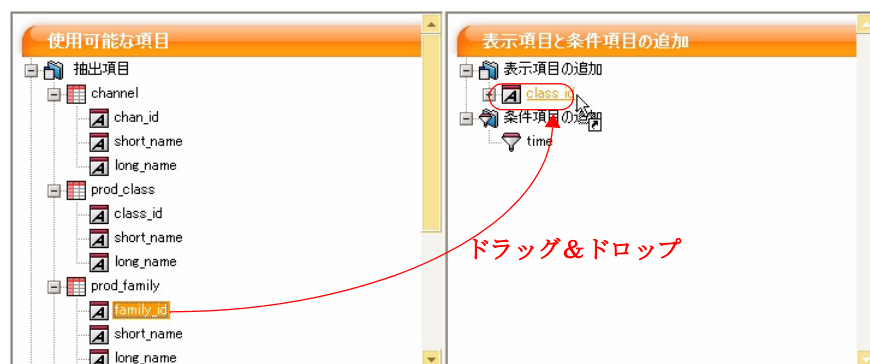


- ・ [表示項目と条件項目の追加] の [条件項目の追加] には、[使用可能な項目] の [条件項目] からのみ、ドラッグ&ドロップを行うこと

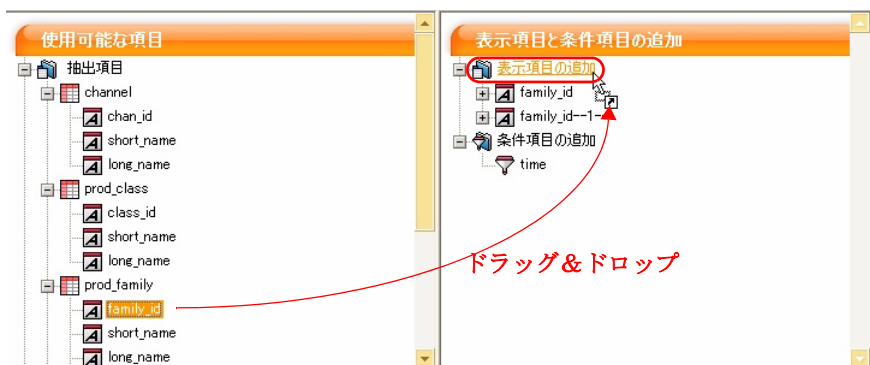
ができます。



- ・ [表示項目の追加] へ移動した項目を上書きしたい場合には、[使用可能な項目] から項目を選択し、[表示項目と条件項目の追加] の [表示項目の追加] にある、上書きしたい項目へドラッグ&ドロップします。



- ・ [表示項目と条件項目の追加] の [表示項目の追加] に既に存在する項目が再度追加された場合には、項目名の最後に番号が付きます。



- ・ [表示項目と条件項目の追加] から項目を削除する場合や、項目の表示順序を変更したい場合は、項目を右クリックしてポップアップメ

ニューを表示させ、サブメニューを選択します。



2. [画面プロパティ] で各項目を設定します。

○単純表

項目名	説明
SQL	ボタンをクリックすると [SQL] サブ画面が表示されます。 [SQL] サブ画面では SQL をカスタマイズすることが可能です。
一度に表示する行数	レポートに一度に表示される行数を設定します。
セルの結合	項目名が同一な場合、セルを結合するかどうか選択します。 [結合する] セルを結合します。 [結合しない] セルを結合しません。

○繰り返し表

項目名	説明
SQL	ボタンをクリックすると [SQL] サブ画面が表示されます。 [SQL] サブ画面では SQL をカスタマイズすることが可能です。
一度に表示する行数	レポートに一度に表示される行数を設定します。
セルの結合	項目名が同一な場合、セルを結合するかどうか選択します。 [結合する] セルを結合します。 [結合しない] セルを結合しません。
ヘッダーカラム	リスト形式のカラムをカテゴリごとに設定することができます。3 つまで設定することが可能です。

○クロスタブ表

画面プロパティ

SQL

一度に表示する行数	<input type="text" value="30"/>
セルの結合	結合しない ▼
行ヘッダー-1	ID: 未選択 ▼ 名前: 未選択 ▼
行ヘッダー-2	ID: 未選択 ▼ 名前: 未選択 ▼
行ヘッダー-3	ID: 未選択 ▼ 名前: 未選択 ▼
列ヘッダー-1	ID: 未選択 ▼ 名前: 未選択 ▼
列ヘッダー-2	ID: 未選択 ▼ 名前: 未選択 ▼
列ヘッダー-3	ID: 未選択 ▼ 名前: 未選択 ▼
メジャー	未選択 ▼

項目名	説明
SQL	ボタンをクリックすると [SQL] サブ画面が表示されます。 [SQL] サブ画面では SQL をカスタマイズすることが可能です。
一度に表示する行数	レポートに一度に表示される行数を設定します。
セルの結合	項目名が同一な場合、セルを結合するかどうか選択します。 [結合する] セルを結合します。 [結合しない] セルを結合しません。
行ヘッダー	行ヘッダーに表示する項目を 3 つまで設定することができます。
列ヘッダー	列ヘッダーに表示する項目を 3 つまで設定することができます。
メジャー	データセルに表示する項目を 1 つ設定します。

○単純表・グラフ

画面プロパティ

SQL

一度に表示する行数	50
グラフの縦サイズ (px)	200
グラフの横サイズ (px)	300
表の表示	表示する ▼
グラフ種類	棒グラフ ▼
グラフのY軸メンバー	表題1 ▼
グラフのX軸数値項目	表題2 ▼
	表題3 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼
	未選択 ▼

項目名	説明
SQL	ボタンをクリックすると [SQL] サブ画面が表示されます。 [SQL] サブ画面では SQL をカスタマイズすることが可能です。
一度に表示する行数	レポートに一度に表示される行数を設定します。
グラフの縦サイズ (px)	グラフの縦サイズを設定することができます (単位: ピクセル)。
グラフの横サイズ (px)	グラフの横サイズを設定することができます (単位: ピクセル)。
表の表示	表の有無を設定できます。初期設定では”表示する”が選択されています。
グラフの種類	線グラフ・棒グラフ・円グラフから選択できます。
グラフのY軸メンバー	グラフのY軸に表示されるメンバーを選択します。
グラフのX軸数値項目	グラフのX軸に表示される数値項目を10個まで設定できます。

○関連図

画面プロパティ	
ID	表題1 ▼
親ID	表題2 ▼
表示名	表題1 ▼
判別数値	表題3 ▼
閾値1	0
閾値2	100
ポップアップ1	未選択 ▼
ポップアップ2	未選択 ▼
ポップアップ3	未選択 ▼
ポップアップ4	未選択 ▼
ポップアップ5	未選択 ▼

項目名	説明
ID	指標となる項目のカラムを選択します。
親 ID	指標となる項目の親項目のカラムを選択します。
表示名	表示名を選択します。
判別数値	指標で使用する数値カラムを選択します。
閾値	指標のステータスを判別するための閾値を設定します。 × (赤) 「閾値 1」 未満 ! (黄) 「閾値 1」 以上、「閾値 2」 未満 ○ (青) 「閾値 2」 未満
ポップアップ	関連図アイコンの上に表示される小さい画面の内容を設定します。

○条件設定

条件	ID	名前
条件1	class_id	class_short_name
条件1	family_id	family_short_name
条件1	prod_id	prod_short_name
条件1	未選択	未選択
条件1	未選択	未選択
条件2	chan_id	chan_short_name

項目名	説明
条件	<p>条件を3つまで設定することができます。1つの条件には5つまでの分類条件を追加できます。一番上の条件が大分類、二番目が中分類・・・というように一番上から順番に条件を絞り込むことができます。</p> <p>上記の例のように設定すると、以下の条件設定レポートが作成されます。</p> <div> <div>条件1</div> <div>ハードウェア</div> <div>メモリー</div> <div>SIMM- 8MB PCMCIAカード</div> </div> <div> <div>条件2</div> <div>直販</div> <div>検索</div> </div>

3. [次へ] ボタンをクリックします。「ROLAP レポート作成 - サンプル確認 - (4/4) 」画面が表示されます。

次へ >>

3.2.5 ステップ4：レポートの保存

1. [OK] ボタンをクリックして、レポート情報を保存します。

OK

メモ： レポートのサンプルを確認する場合は、[サンプル実行] ボタンをクリックして、サンプルを表示することができます。

2. レポートは、ツリー画面の [レポート]-[ROLAP レポート] に保存されます。

class_short_name	chan_short_name	sales	costs
ソフトウェア+その他	Webカタログ	0	0
	カタログ	1364197	784135
	卸売	1265655	646944
	直販	782276	459613
ハードウェア	Webカタログ	0	0
	カタログ	20030380	18148878
	卸売	18873283	15095894
	直販	11297140	10451901

3.2.6 レポートの編集

MOLAP レポートとポータルレポートは作成済みのレポートから内容を編集することができますが、ROLAP レポートの編集は、[ROLAP レポート作成] 画面で行います。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [ROLAP レポート作成] を選択して [ROLAP レポート作成-レポート選択 (1/4)] 画面を表示します。



2. 編集したいレポートの [編集] ラジオボタンを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
3. [ROLAP 新規作成-レポート設定 (1) (2/4)] 画面、[ROLAP 新規作成-レポート設定 (2) (3/4)] 画面で設定を修正し、[ROLAP 新規作成-サンプル確認 (4/4)] 画面で [OK] ボタンをクリックします。

3.3 ポータルレポートの作成

ポータルレポートを作成して、ROLAP レポートや外部のインターネットサイトを複数のウィンドウに表示することができます。

3.3.1 ポータルレポート作成ウィザード

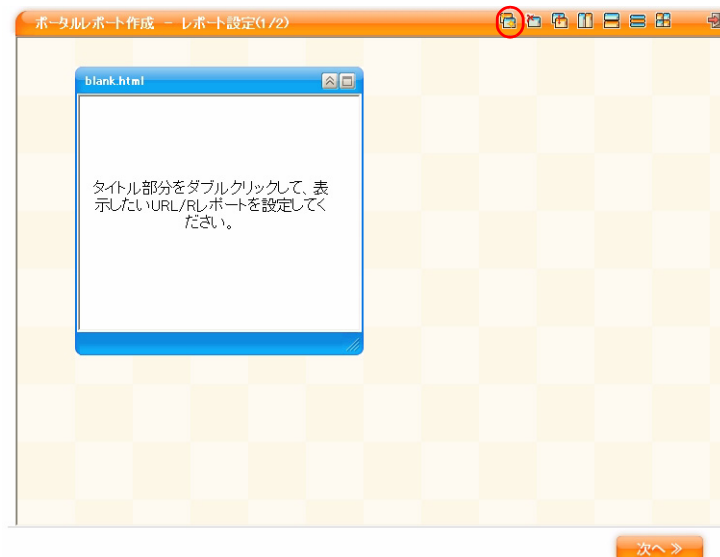
- ・ [ステップ 1：ポータルレポートの新規作成](#)
- ・ [ステップ 2：レポートの名前、フォルダの指定](#)

3.3.2 ステップ 1：ポータルレポートの新規作成

1. ツリー画面の [レポート管理]-[ポータルレポート作成] をクリックします。[ポータルレポート作成－レポート設定 (1/2)] 画面が表示されます。



2. [新規作成] ボタンをクリックします。ポータルウィンドウが表示されます。



3. ポータルウィンドウのタイトル部分をダブルクリックします。[ウィンドウプロパティ] サブ画面が表示されます。

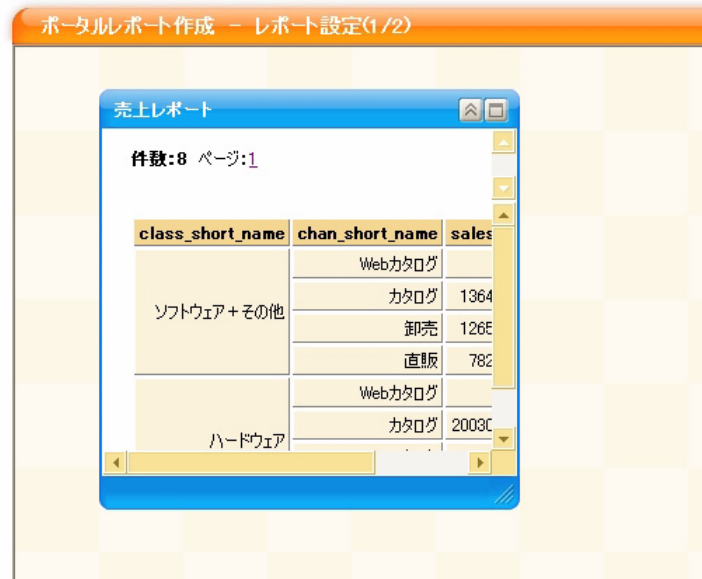
4. [ウィンドウプロパティ] サブ画面で、URL ラジオボタンもしくは ROLAP レポートのラジオボタンを選択します。
- ・ [URL] ラジオボタンを選択した場合、URL 記入欄に URL を記入します。



- ・ [ROLAP レポート] ラジオボタンを選択した場合、リストボックスから ROLAP レポートを選択します。



5. [OK] ボタンをクリックします。ポータルウィンドウに、ウィンドウプロパティで設定した画面が表示されます。

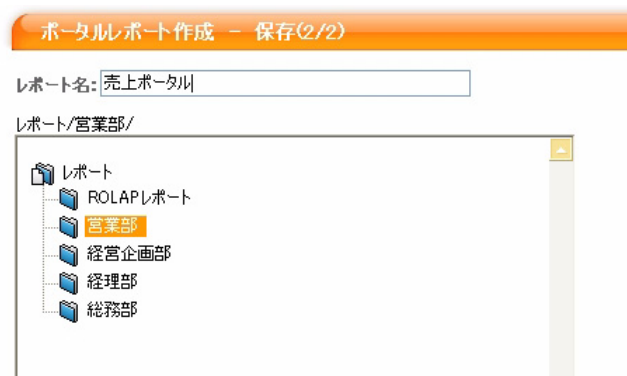


6. 同様にして複数のポータルウィンドウを作成することができます。また、作成したポータルウィンドウの入れ替えや削除、並び方の指定も行うことができます。操作方法詳細については『OpenOLAP Viewer マニュアル』を参照してください。
7. [次へ] ボタンをクリックします。[ポータルレポート作成 - 保存 (2/2)] 画面が表示されます。



3.3.3 ステップ2：レポートの名前、フォルダの指定

1. [レポート名] ボックスにレポート名を入力し（最大 30 文字）、[保存先のフォルダ] エリアからレポートを格納したいフォルダを選択します。



2. [完了] ボタンをクリックします。



メモ： ツリー画面に作成したポータルレポートが追加されます。



フォルダ・レポートの管理

レポート検索を効率的にするフォルダを作成したり、レポートをフォルダに割り当て直すなど、エクスプローラ風の操作でフォルダとレポートを管理することができます。この章では、フォルダとレポートの管理方法についてご説明します。

この章は、以下のとおり構成されています。

- ・ [フォルダの管理](#)
- ・ [レポートの管理](#)
- ・ [ドリルスルー設定](#)

4.1 フォルダ・レポート管理の画面構成

[フォルダ・レポート管理] 画面の各個所の名称は以下のとおりです。



フォルダツリー

フォルダを表示します。

フォルダメンバーリスト

フォルダツリーで選択されているフォルダに所属するフォルダおよびレポートを表示します。

フォルダメンバーリスト

項目	説明
名前	フォルダ、レポートの名前を表示します。
ID	フォルダ、レポートの ID を表示します。
種類	フォルダ、レポートのどちらかを表示します。
グループ	フォルダ、レポートを参照できるグループを表示します。
更新日時	最終更新日時を表示します。

4.2 フォルダの管理

ツリー画面に表示されるフォルダの作成、名前の変更、移動、削除を行うことができます。

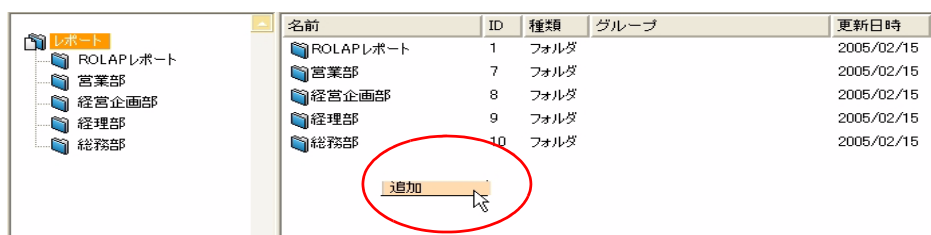
4.2.1 フォルダの作成

新しいフォルダを作成することができます。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 新しいフォルダの親フォルダとなるフォルダをツリー上でクリックして、親フォルダのメンバーリストを表示します。メンバーリストの空白部分で右クリックして、ポップアップメニューの [追加] をクリックします。



3. ダイアログボックスが表示されるので、[名前] ボックスにフォルダの名称を入力して、[OK] ボタンをクリックします（最大桁数：30 文字）。



メモ： 既存フォルダと名前が重複しても問題はありません。

4. 親フォルダ内で昇順に並び替えられ、表示されます。

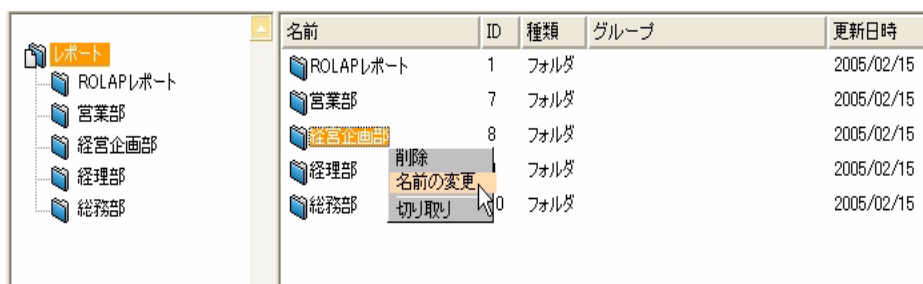
4.2.2 フォルダ名の変更

作成したフォルダのフォルダ名を変更できます。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. フォルダのメンバーリストから、名前を変更したいフォルダを選択して右クリックし、ポップアップメニューの [名前の変更] をクリックします。



3. ダイアログボックスが表示されるので、[名前] ボックスに変更後のフォルダ名を入力し、[OK] ボタンをクリックします（最大桁数：30 文字）。



4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にフォルダ名の変更を反映させます。

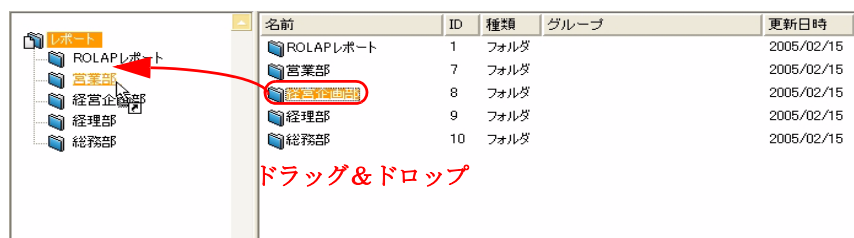
4.2.3 フォルダの移動

作成済みのフォルダをツリー上の他の場所へ移動することができます。配下のフォルダまたはレポートもフォルダと一緒に移動されます。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 移動させたいフォルダをクリックして、移動先のフォルダへドラッグ&ドロップします。



メモ： Shift キー、または Ctrl キーでフォルダを複数選択することもできます。

3. フォルダが移動します。



4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にフォルダの移動を反映させます。

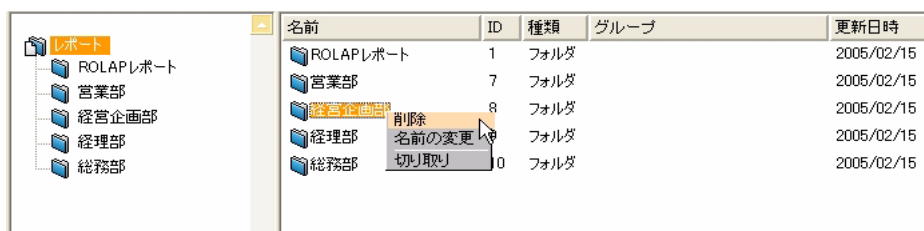
4.2.4 フォルダの削除

作成済みのフォルダを削除することができます。配下のフォルダまたはレポートも同時に削除されます。

1. ツリー画面から「レポート管理」－「フォルダ・レポート管理」を選択して「フォルダ・レポート管理」画面を表示します。



2. 削除したいフォルダをフォルダメンバーリスト上で右クリックし、ポップアップメニュー「削除」をクリックします。



3. フォルダが削除されます。

注記： フォルダ内にレポートまたはフォルダが格納されている場合は同時に削除されます。尚、この削除を取り消すことはできません。フォルダ内に必要なレポートが残っていないか十分に確認してからフォルダを削除してください。

4. 「ツリーの更新」ボタンをクリックして、フォルダの削除を反映させます。

4.3 レポートの管理

レポート名の変更、移動、削除を行うことができます。

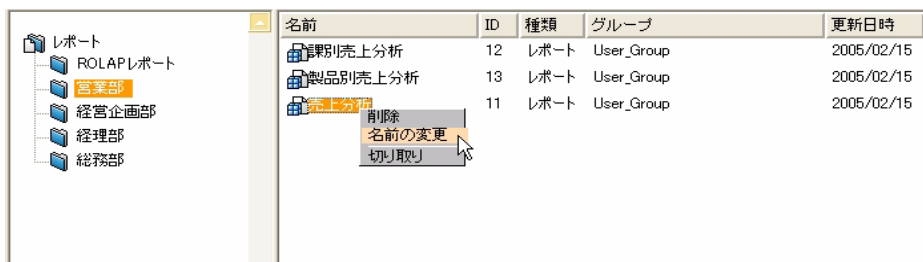
4.3.1 レポート名の変更

作成済みのレポートのレポート名を変更することができます。

1. ツリー画面から「レポート管理」－「フォルダ・レポート管理」を選択して「フォルダ・レポート管理」画面を表示します。



- 名前を変更したいレポートを右クリックしてポップアップメニュー「名前の変更」をクリックします。



- ダイアログボックスが表示されるので、「名前」ボックスに新しいレポート名を入力して「OK」ボタンをクリックします（最大桁数 30 文字）。



- 「ツリーの更新」ボタンをクリックして、ツリー画面にレポート名の変更を反映させます。

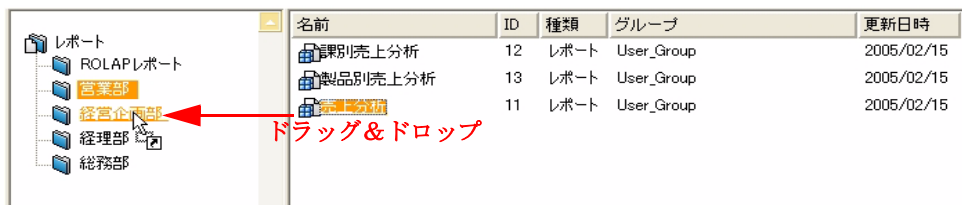
4.3.2 レポートの移動

作成済みのレポートをツリー上の他のフォルダへ移動することができます。

- ツリー画面から「レポート管理」－「フォルダ・レポート管理」を選択して「フォルダ・レポート管理」画面を表示します。

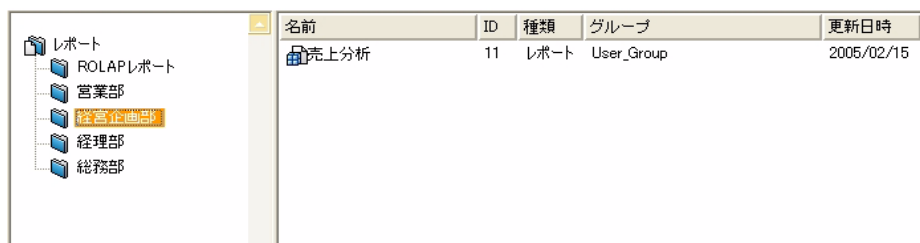


2. 移動させたいレポートをクリックして、移動先のフォルダへドラッグ&ドロップします。



メモ： Shift キー、または Ctrl キーでレポートを複数選択することもできます。

3. レポートが移動します。



4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にレポートの移動を反映させます。

4.3.3 レポートの削除

作成済みのレポートを削除することができます。

1. ツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して [フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



2. 削除したいレポートを右クリックし、ポップアップメニュー [削除] をクリックします。



3. レポートが削除されます。

4. [ツリーの更新] ボタンをクリックして、ツリー画面にレポートの削除を反映させます。

4.4 ドリルスルー設定

OpenOLAP Report Designer や OpenOLAP Viewer では、MOLAP レポートや条件設定レポートから、ROLAP レポートへドリルスルーすることができます。ROLAP レポートへドリルスルーするためには、OpenOLAP Model Designer でドリルスルー先 ROLAP レポートのための ROLAP モデルを作成しておく必要があります。

4.4.1 MOLAP レポートからのドリルスルー設定

MOLAP レポートから ROLAP レポートへドリルスルーするための設定方法を説明します。

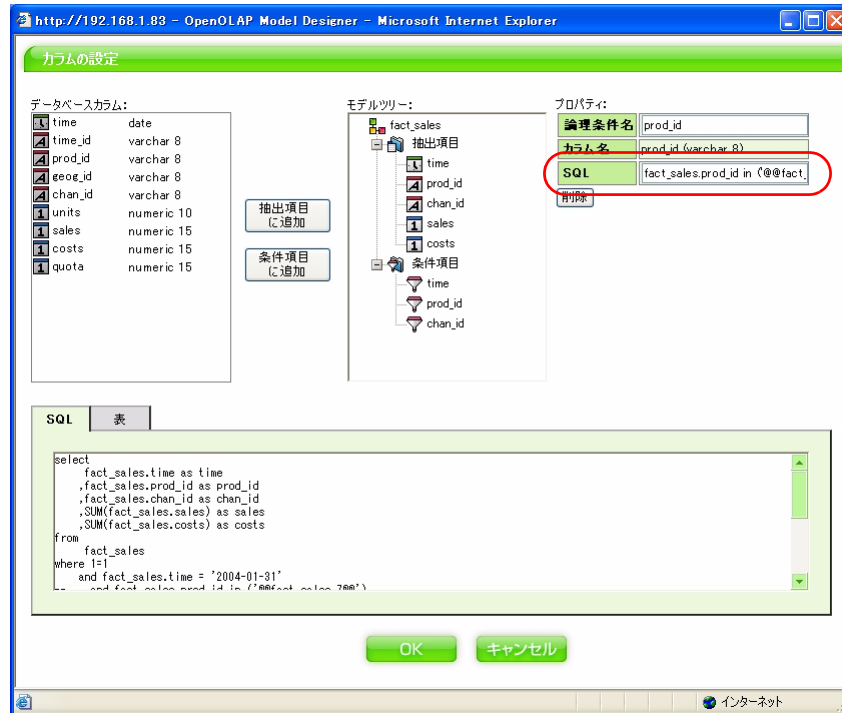
The screenshot shows the OpenOLAP Report Designer interface. At the top, there is a navigation bar with tabs for '売上分析' (Sales Analysis), '価格 合計' (Price Total), '製品 合計' (Product Total), and '売上金額' (Sales Amount). Below this, there is a table with columns for '年月' (Year/Month), '合計' (Total), and '02年度' (Fiscal Year 2002), '03年度' (Fiscal Year 2003), and '04年度' (Fiscal Year 2004). The table lists various sales channels and products, with a red circle highlighting the '売上明細レポート (MOLAP用)' (Sales Detail Report (MOLAP Use)) row. A red arrow points from this row to a second window titled 'OpenOLAP Report Designer - Microsoft Intern...'. This window displays a ROLAP report with columns for '時間' (Time), 'チャンネル名' (Channel Name), '製品名' (Product Name), and '売上金額' (Sales Amount). The report shows detailed sales data for the year 2004, including channel names like '卸売' (Wholesale) and product names like '2.88MB 3.5 FD', 'Envoy アンパサダー', 'Envoy エグゼクティブ', 'Envoy スタンダード', 'Envoy 内蔵キーボード', 'PCMCIA モデム/FAX 19200bps', 'PCMCIA モデム/FAX 28800bps', 'SIMM- 16MB PCMCIAカード', 'SIMM- 8MB PCMCIAカード', 'Sentinel スタンダード', 'Sentinel ファイナンス', and 'Sentinel マルチメディア'.

右クリック

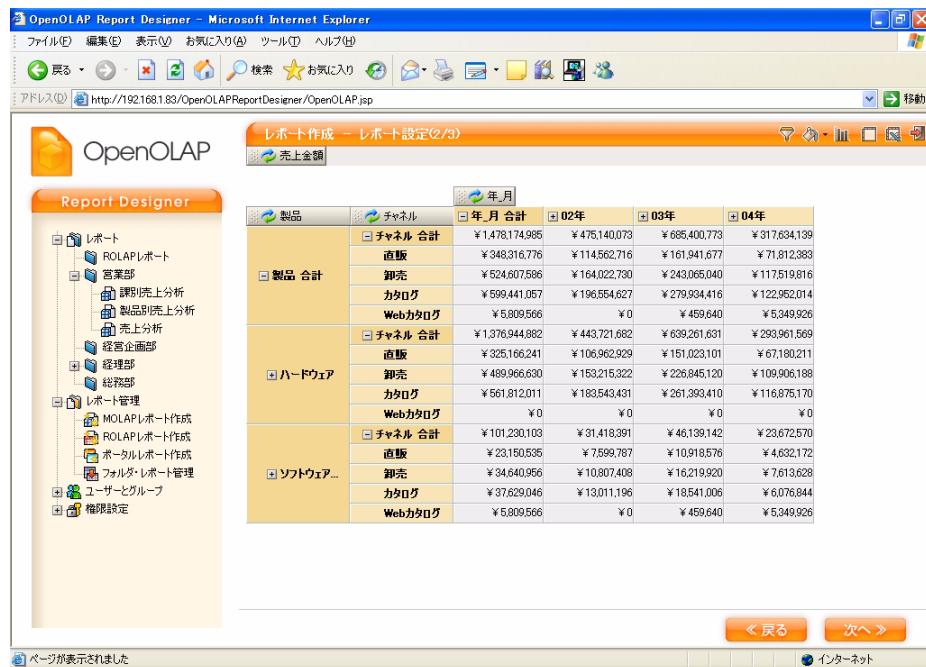
ドリルスルーしたレポートが表示される

1. OpenOLAP Model Designer の ROLAP アプリケーションで、ドリルスルー先 ROLAP レポートのための ROLAP モデルを作成します。ここで、MOLAP レポートから変数を受け取れるよう、条件項目（条件を“in”で指定）を設

定しておきます。作成方法詳細については、『OpenOLAP Model Designer マニュアル』の『7.3.1 テーブルの追加』を参照してください。



2. OpenOLAP Report Designer のツリー画面から [レポート管理] - [MOLAP レポート作成] を選択して、ドリルスルー元の MOLAP レポートを作成します。作成方法詳細については、[『3.1 MOLAP レポートの作成』](#) を参照してください。



3. OpenOLAP Report Designer のツリー画面から [レポート管理] - [ROLAP レポート作成] を選択して、1. で作成した ROLAP モデルを元に ROLAP レ

ポートを作成します。作成方法詳細については、『[3.2 ROLAP レポートの作成](#)』を参照してください。



注記：[条件項目]にドリルスルー元 MOLAP レポートから変数を受け取る条件カラムを追加しておく必要があります。

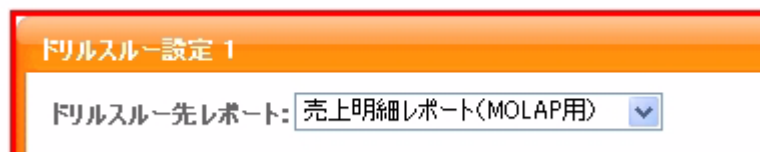
4. OpenOLAP Report Designer のツリー画面から[レポート管理] - [フォルダ・レポート管理]を選択して、[フォルダ・レポート管理]画面を表示します。



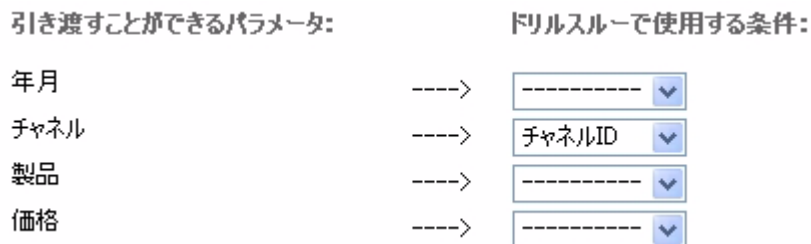
5. フォルダメンバーリスト内のドリルスルー元の MOLAP レポートをダブルクリックして、[ドリルスルー設定]サブ画面を表示します。



6. [ドリルスルー設定 1] の [ドリルスルー先レポート] リストボックスから、3. で作成した ROLAP レポートを選択します。



7. MOLAP レポートのディメンションから変数を受け取るカラムを [ドリルスルーで使用する条件] リストボックスから選択します。



8. さらにドリルスルー先の ROLAP レポートがある場合は、[ドリルスルー先レポートの追加] ボタンをクリックし、同様に設定します。



メモ: ドリルスルー設定の削除をするには、削除したいドリルスルー設定を選択してから [ドリルスルー設定の削除] ボタンをクリックします。

9. ドリルスルー設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

注記： [フォルダ・レポート管理] の [ツリーの更新] ボタンは押す必要はありません。また、画面遷移時に「変更情報を破棄しますか？」という警告メッセージが表示されますが、ドリルスルー設定は既に保存されているため、“はい”を選択してください。

10. ドリルスルー設定が正しくできているかどうか確認するために、MOLAP レポートを開きます。
11. MOLAP レポートのデータセルを右クリックして、ポップアップメニューからドリルスルー先レポートを選択します。

売上分析				
<div> <div>製品 合計</div> <div>価格 合計</div> <div>売上金額</div> </div>				
<div>年月</div>				
チャンネル	年月 合計	02年度	03年度	04年度
チャンネル 合計	¥1,333,438,343	¥358,450,662	¥529,205,279	¥445,782,402
直販	¥314,360,374	¥86,804,058	¥127,000,223	¥100,556,093
卸売	¥471,620,531	¥127,111,570	¥219,845,065	¥173,109,280
カタログ	¥541,066,915	¥148,111,570	¥219,845,065	¥173,109,280
Webカタログ	¥6,390,523	¥0	¥0	¥6,390,523

12. サブ画面にドリルスルー先レポートが表示されます。

OpenOLAP Report Designer - Microsoft Internet Explorer			
件数:21 ページ:1			
時間	チャンネル名	製品名	売上金額
2004-01-01	卸売	2.88MB 3.5 FD	559691
2004-01-01	卸売	Envoy アンバサダー	2071839
2004-01-01	卸売	Envoy エグゼクティブ	1769138
2004-01-01	卸売	Envoy スタンダード	6818977
2004-01-01	卸売	Envoy 内蔵キーボード	224889
2004-01-01	卸売	PCMCIA モデム/FAX 19200bps	77372
2004-01-01	卸売	PCMCIA モデム/FAX 28800bps	874492
2004-01-01	卸売	SIMM- 16MB PCMCIAカード	308268
2004-01-01	卸売	SIMM- 8MB PCMCIAカード	637426
2004-01-01	卸売	Sentinel スタンダード	5258737
2004-01-01	卸売	Sentinel ファイナンス	1867270
2004-01-01	卸売	Sentinel マルチメディア	4089731
2004-01-01	卸売	Unix/Windows 1ユーザーバック	542645
2004-01-01	卸売	Unix/Windows 5ユーザーバック	44871

4.4.2 条件設定レポートからのドリルスルー設定

条件設定レポートから ROLAP レポートへドリルスルー（正確には、条件検索）するための設定方法を説明します。

条件設定(製品)

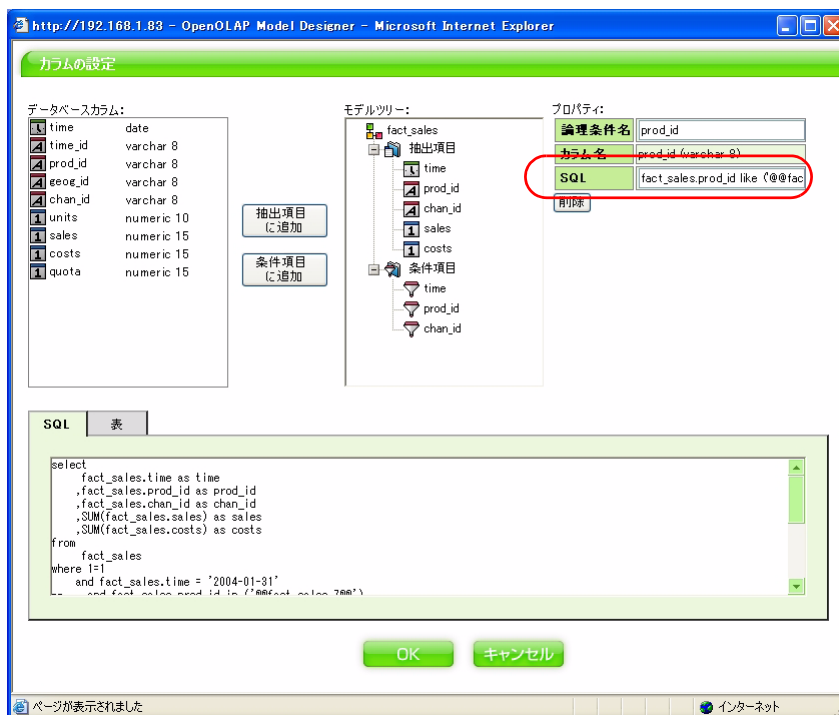
条件1 ハードウェア ノートPC Envoy スタガード

検索 条件を指定して[検索]ボタンをクリック

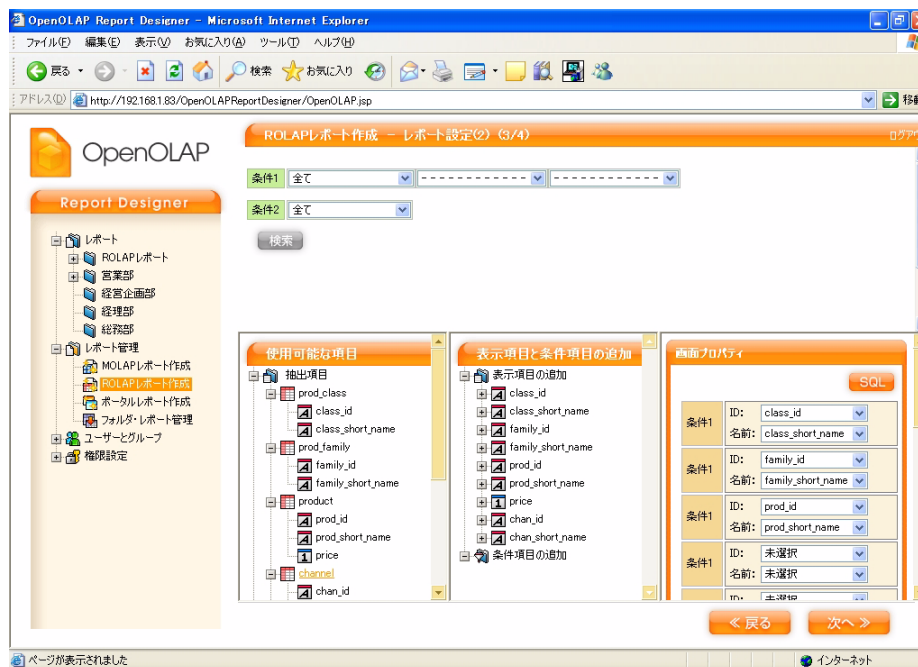
件数: 4 ページ: 1

時間	チャネル名	製品名	売上金額
2004-01-01	Webカタログ	Envoy スタガード	0
2004-01-01	カタログ	Envoy スタガード	8426775
2004-01-01	卸売	Envoy スタガード	6818977
2004-01-01	直販	Envoy スタガード	4751985

1. OpenOLAP Model Designer の ROLAP アプリケーションで、ドリルスルー先 ROLAP レポートのための ROLAP モデルを作成します。ここで、条件設定レポートから変数を受け取れるよう、条件項目（条件を“like”で指定）を設定しておきます。作成方法詳細については、『OpenOLAP Model Designer マニュアル』の『7.3.1 テーブルの追加』を参照してください。



2. OpenOLAP Report Designer のツリー画面から [レポート管理] - [ROLAP レポート作成] を選択して、条件設定レポートを作成します。作成方法詳細については、[『3.2 ROLAP レポートの作成』](#) を参照してください。



3. OpenOLAP Report Designer のツリー画面から [レポート管理] - [ROLAP レポート作成] を選択して、1. で作成した ROLAP モデルを元に ROLAP レポートを作成します。作成方法詳細については、[『3.2 ROLAP レポートの作成』](#) を参照してください。



注記： [条件項目] に条件設定レポートから変数を受け取る条件カラムを追加しておく必要があります。

4. OpenOLAP Report Designer のツリー画面から [レポート管理] - [フォルダ・レポート管理] を選択して、[フォルダ・レポート管理] 画面を表示します。



5. フォルダメンバーリスト内の条件設定レポートをダブルクリックして、[ドリルスルー設定] サブ画面を表示します。



6. [ドリルスルー設定 1] の [ドリルスルー先レポート] リストボックスから、3. で作成した ROLAP レポートを選択します。

注記： 条件設定レポートに設定できるドリルスルー先レポートは1つだけです。

7. 条件設定レポートから変数を受け取るカラムを [ドリルスルーで使用する条件] リストボックスから選択します。

引き渡すことができるパラメータ:		ドリルスルーで使用する条件:
製品クラスID	---->	-----▼
製品ファミリーID	---->	-----▼
製品ID	---->	製品ID▼

8. ドリルスルー設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

注記： [フォルダ・レポート管理] の [ツリーの更新] ボタンは押す必要はありません。また、画面遷移時に「変更情報を破棄しますか？」という警告メッセージが表示されますが、ドリルスルー設定は既に保存されているため、「はい」を選択してください。

9. ドリルスルー設定が正しくできているかどうか確認するために、条件設定レポートを開きます。
10. 条件リストボックスから条件を選択して、[検索] ボタンをクリックします。

11. 画面下部にドリルスルー先レポートが表示されます。

条件設定(製品)

条件1

ハードウェア

ノートPC

Envoy エグゼクティブ

検索

件数:4 ページ:1

時間	チャネル名	製品名	売上金額
2004-01-01	Webカタログ	Envoy エグゼクティブ	0
2004-01-01	カタログ	Envoy エグゼクティブ	2016930
2004-01-01	卸売	Envoy エグゼクティブ	1769138
2004-01-01	直販	Envoy エグゼクティブ	1241063

ユーザー、グループの管理

OpenOLAP Report Designer、OpenOLAP Viewer を使用するユーザーやグループを作成することができます。ユーザーおよびグループにはレポートの参照権限やエクスポート形式を個別に指定することができ、ユーザーをグループに所属させて一元管理することもできます。この章では、ユーザーとグループの管理方法についてご説明します。

この章は、以下のとおり構成されています。

- ・ [ユーザーの管理](#)
- ・ [グループの管理](#)

5.1 ユーザーの管理

OpenOLAP Report Designer、OpenOLAP Viewer を使用するユーザーの作成、変更、削除を行うことができます。

5.1.1 ユーザーの種類

OpenOLAP Report Designer では「管理者」、「一般ユーザー」、「ゲスト」の3つの「ユーザーの種類」があります。それぞれのユーザーの種類の特性は次の通りです。

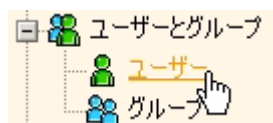
	管理者	一般ユーザー	ゲスト
ユーザー、グループの作成	○		
グループの権限設定	○		
共通レポート、共通フォルダの作成	○		
共通レポートの参照	○	○	○
個人レポート、共通フォルダの作成		○	
グループへの所属		○	○

初期設定では、“admin”（管理者）、“user”（一般ユーザー）、“guest”（ゲスト）の3ユーザーが登録されており、user と guest は “User_Group” グループに属しています。

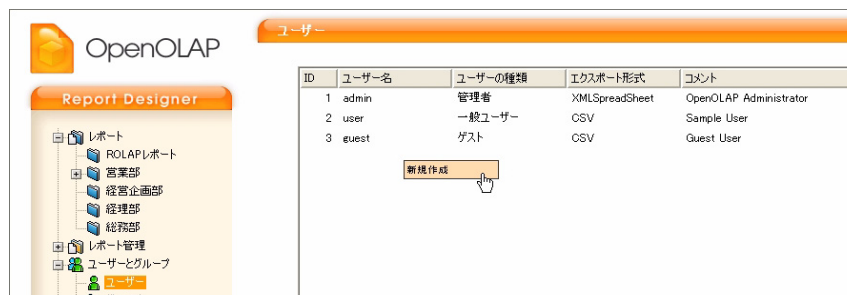
5.1.2 ユーザーの作成

新しいユーザーを作成します。

1. ツリー画面から [ユーザーとグループ] - [ユーザー] を選択して [ユーザー] 画面を表示します。



2. ユーザーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[新規作成] をクリックします。



3. [ユーザー情報] 画面が表示されるので、以下の情報を入力します。

項目名	入力内容
ユーザー名	ユーザー名を入力します。(最大桁数：30)
パスワード	パスワードを入力します。(最大桁数：30)
ユーザーの種類	ユーザーの種類を選択します。 ユーザーの種類については、 『5.1.1 ユーザーの種類』 を参照してください。
エクスポート形式	レポートをエクスポートする際の形式を選択します。 [XMLSpreadSheet] レポートを XMLSpreadSheet 形式でエクスポートします。レポートに色設定がされている場合、色設定もデータとあわせて出力することができます。 * ハイライト設定は出力することができません。 [CSV] レポートを CSV 形式でエクスポートします。
コメント	ユーザーに対するコメントを入力します。(最大桁数：250)
利用可能グループ、選択グループ	[利用可能グループ] から、ユーザーが属するグループを選択します。 [追加 >>] ボタン [利用可能グループ] から [選択グループ] にグループが移動します。 [<< 削除] ボタン [選択グループ] から [利用可能グループ] にグループが戻ります。

注記： [選択グループ] でグループが1つも選択されていない場合は、ユーザーはレポートを一切参照することができなくなります。レポートを参照させたい場合は、1つ以上のグループを選択してください。

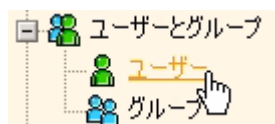
4. [作成] ボタンをクリックして、ユーザー情報を保存します。
5. ユーザーリストに作成したユーザーが追加されます。

6. [OK] ボタンをクリックして、ユーザーの追加を確定させます。

5.1.3 ユーザー情報の変更

作成済みのユーザーの情報を変更することができます。

1. ツリー画面から [ユーザーとグループ] - [ユーザー] を選択して [ユーザー] 画面を表示します。



2. ユーザー情報を変更したいユーザーをユーザーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[変更] をクリックします。またはユーザーリスト上でユーザーをダブルクリックします。

ユーザー				
ID	ユーザー名	ユーザーの種類	エクスポート形式	コメント
1	admin	管理者	XMLSpreadSheet	OpenOLAP Administrator
2	user	一般ユーザー	CSV	Sample User
3	guest	ゲスト	CSV	Guest User
4	sample	一般ユーザー	XMLSpreadSheet	



3. [ユーザー情報] 画面が表示されるので、項目を編集します。

OpenOLAP Report Designer -- Web ページ ダイアログ

ユーザー情報

ID: 5

ユーザー名: [Sample]

パスワード: [●●●●●●]

ユーザーの種類: [一般ユーザー]

エクスポート形式: [XMLSpreadSheet]

コメント: []

利用可能グループ: []

選択グループ: [User_Group]

[追加>] [←削除]

[更新] [削除] [キャンセル]

http://192.168.1.83/OpenOLAPReportDesigner/flow/jsp/main/user_prpt.jsp?objId=5 インターネット

注記: [ID] は編集できません。

注記: [ユーザーの種類] が「管理者」の場合、[ユーザーの種類] を変更することはできません。

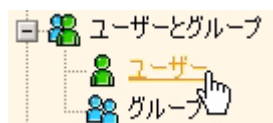
4. [更新] ボタンをクリックして、ユーザー情報を保存します。

5. [OK] ボタンをクリックして、変更したユーザー情報を確定させます。

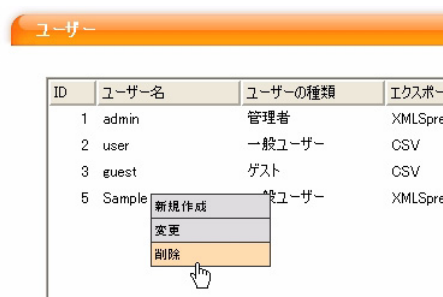
5.1.4 ユーザーの削除

作成済みのユーザーを削除することができます。

1. ツリー画面から [ユーザーとグループ] - [ユーザー] を選択して [ユーザー] 画面を表示します。



2. 削除したいユーザーをユーザーリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[削除] をクリックします。



3. ユーザーリスト上からユーザーが削除されます。
4. [OK] ボタンをクリックして、ユーザーの削除を確定させます。

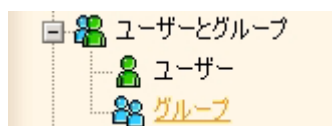
5.2 グループの管理

グループの作成、変更、削除を行うことができます。初期設定では "User_Group" グループが登録されています。

5.2.1 グループの作成

新しいグループを作成することができます。

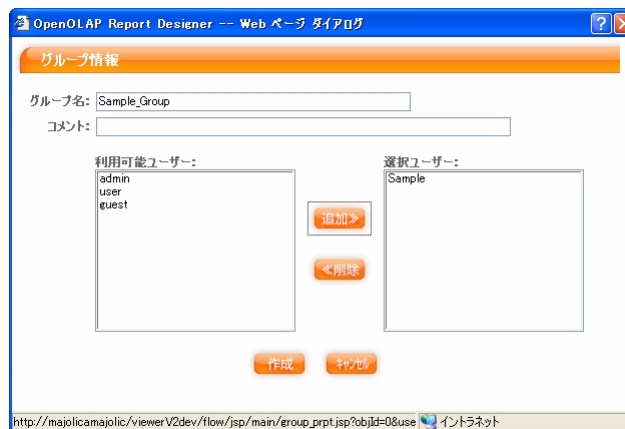
1. ツリー画面から [ユーザーとグループ] - [グループ] を選択して [グループ] 画面を表示します。



2. グループリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[新規作成]をクリックします。



3. [グループ情報]画面が表示されるので、以下の情報を入力します。



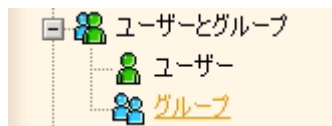
項目名	入力内容
グループ名	グループ名を入力します。(最大桁数：30)
コメント	ユーザーに対するコメントを入力します。(最大桁数：250)
利用可能ユーザー、選択ユーザー	<p>[利用可能ユーザー] から、グループに所属させるユーザーを選択します。</p> <p>[追加 >>] ボタン [利用可能ユーザー] から [選択ユーザー] にユーザーが移動します。</p> <p>[<< 削除] ボタン [選択ユーザー] から [利用可能ユーザー] にユーザーが戻ります。</p>

4. [作成] ボタンをクリックして、グループ情報を保存します。
5. グループリストに作成したグループが追加されます。
6. [OK] ボタンをクリックして、グループの追加を確定させます。

5.2.2 グループ情報の変更

作成済みのグループの情報を変更することができます。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「グループ」を選択して「グループ」画面を表示します。



2. グループ情報を変更したいグループをグループリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「変更」をクリックします。またはグループリスト上でグループをダブルクリックします。

ID	グループ名	コメント
1	User_Group	Sample User Group
2	Sample_Group	

新規作成

変更

削除

3. 「グループ情報」画面が表示されるので、項目を編集します。

OpenOLAP Report Designer -- Web ページ ダイアログ

グループ情報

ID: 2

グループ名:

コメント:

利用可能ユーザー:

admin
user
guest

選択ユーザー:

Sample

追加>
<削除

更新
削除
キャンセル

http://majolicamajolic/viewer/V2dev/flow/jsp/main/group_prpt.jsp?objId=2&use イン트라ネット

注記：「ID」は編集できません。

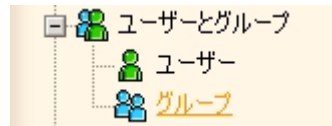
注記：「選択ユーザー」から削除されたユーザーがどのグループにも属さなくなる場合、そのユーザーはレポートを一切参照できなくなります。レポートを参照させたい場合は、ユーザーを他のグループへ追加する必要があります。

4. 「更新」ボタンをクリックして、グループ情報を保存します。
5. 「OK」ボタンをクリックして、変更したグループ情報を確定させます。

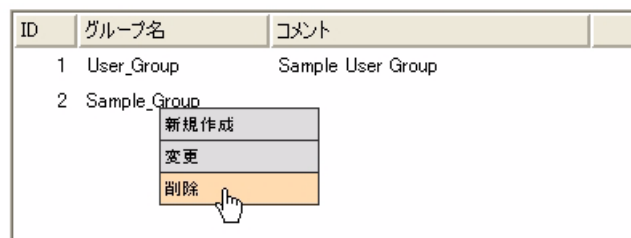
5.2.3 グループの削除

作成済みのグループを削除することができます。

1. ツリー画面から「ユーザーとグループ」－「グループ」を選択して「グループ」画面を表示します。



2. 削除したいグループをグループリスト上で右クリックしてポップアップメニューを表示させ、「削除」をクリックします。



3. グループリスト上からグループが削除されます。
4. [OK] ボタンをクリックして、グループの削除を確定させます。

注記： このグループに属していたユーザーが他のどのグループにも属さなくなる場合、そのユーザーはレポートを一切参照できなくなります。レポートを参照させたい場合は、ユーザーを他のグループへ追加する必要があります。

権限設定

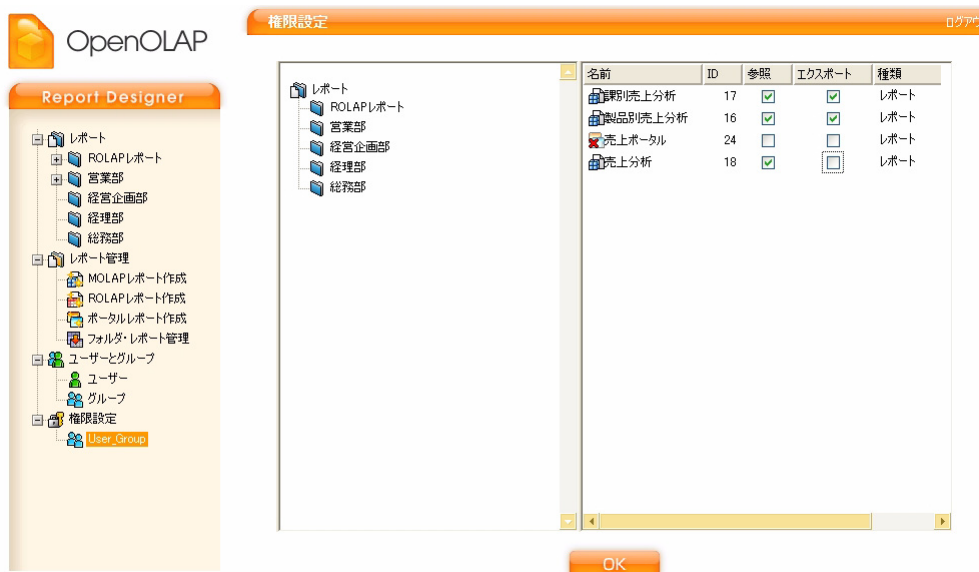
OpenOLAP Report Designer、OpenOLAP Viewer のグループに対して、レポートの参照権限やエクスポート権限を付与して一元管理することができます。この章では、権限の設定方法についてご説明します。

この章は、以下のとおり構成されています。

- ・ [権限の設定](#)

6.1 権限の設定

グループに対して、レポートごとにレポート参照権限、エクスポート権限を設定することができます。



1. ツリー画面から「権限設定」－「[(権限を設定したいグループ)]」を選択して「権限設定」画面を表示します。



2. レポートリスト上で各フォルダおよびレポートの権限を設定します。

名前	ID	参照	エクスポート	種類
ROLAPレポート				
製品別売上分析	17	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	レポート
製品別売上分析	16	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	レポート
売上ポータル	24	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レポート
売上分析	18	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レポート

項目名	入力内容
参照 ・ フォルダ ・ レポート	<p>フォルダおよびレポートの参照権限を設定します。</p> <p>[チェック On] フォルダ、レポートを参照可能とします。</p> <p>[チェック Off] フォルダ、レポートを参照不可とします。</p>
エクスポート ・ レポート	<p>レポートのエクスポート権限を設定します。フォルダでは設定できません。</p> <p>[チェック On] レポートのエクスポートを可能とします。</p> <p>[チェック Off] レポートのエクスポートを不可とします。</p>

3. [OK] ボタンをクリックして、権限設定を確定させます。

